

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査目的

本調査は、介護サービスの利用状況及び今後の利用意向等を把握し、次期介護保険事業計画における各サービスの見込み量設定等の基礎データを得るとともに、介護保険制度や高齢者保健福祉施策全般に対する市民の意向を把握し、「第4期京都市民長寿すこやかプラン」（京都市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）の策定に向けての基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査の種別と調査対象

種別	調査対象
A 高齢者一般調査	要介護（要支援）認定を受けていない65歳以上の方 4,000人（抽出）
B 居宅サービス利用者調査	介護保険の居宅サービスを利用している方 3,500人（抽出）
C 居宅サービス未利用調査	要介護（要支援）認定を受けているが、介護サービスを利用していない方 1,750人（抽出）
D 若年者調査	40歳以上65歳未満の方 3,000人（抽出）

3 調査内容

(1) 高齢者一般調査・若年者調査

- ア 基本属性
- イ 身体・生活の状況
- ウ 外出や生きがい活動の状況
- エ 介護予防に関する取り組みと意向
- オ 介護と在宅生活に対する意向
- カ 介護保険制度に対する意向

(2) 居宅サービス利用者調査・居宅サービス未利用者調査

- ア 基本属性
- イ 身体・生活の状況
- ウ 外出や生きがい活動の状況
- エ 介護サービスの利用状況と利用意向
- オ 介護サービスの未利用理由
- カ 介護サービス等の情報に対する意向
- キ 施設への入所申込の状況
- ク 介護予防に関する取り組みと意向
- ケ 介護と在宅生活に対する意向
- コ 保険料、利用料に対する意向
- サ 在宅介護の状況と意向

4 調査期間

平成 19 年 12 月 14 日～12 月 28 日

5 調査方法

郵送法

6 回収結果

種別	発送数	有効回収数	有効回収率
A 高齢者一般調査	4,000	2,549	63.7%
B 居宅サービス利用者調査	3,500	1,863	53.2%
C 居宅サービス未利用者調査	1,750	832	47.5%
D 若年者調査	3,000	1,419	47.3%

7 報告書の見方

- (1) 集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しており、比率の合計が 100.0%にならないことがある。
- (2) 図表中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問である。
MA% (Multiple Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
2 LA% (2 Limited Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものを 2 つ以内で選択する場合
3 LA% (3 Limited Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものを 3 つ以内で選択する場合
複数回答を依頼した質問では、集計結果の合計が 100.0%を超える場合がある。
- (3) 回答比率 (%) はその質問の回答者数を基数 (N = Number of case) として算出した。
なお、回答者数が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることが難しいため、図表に数値は掲載しているが、文章中では言及していない。
- (4) 「B 居宅サービス利用者調査」及び「C 居宅サービス未利用者調査」の調査対象者の抽出を本市の介護保険被保険者・受給者台帳データを用いて実施したが、対象者の抽出の資料とした給付実績 (利用月) と調査時点との時間差により、介護サービスの利用有無の回答で抽出区分と違う回答をした方があった。調査票はすべて同一の質問項目を用いているため、集計に当たっては、回答内容によって、介護サービスの利用者・未利用者に振り分けた。
- (5) 本調査結果を、要介護 (支援) 者の出現率や各介護サービス量の見込み量設定等に活用するためには、年齢階層別や要介護度別に、十分な分析ができるだけの回答数を得る必要がある。このため、「A 高齢者一般調査」及び「D 若年者調査」については、標本数を年齢 5 歳階級別に同数ずつ配分することにより、最小の分析単位における有効回収数が 100 以上となるように設定した。同様に、「B 居宅サービス利用者調査」及び「C 居宅サービス未利用者調査」については、要介護度別に同数ずつを配分した。回収票の

集計に当たっては、母集団における年齢構成比及び要介護度別構成比を反映するために、ウエイトをつけて集計した。本報告書における回答比率（％）はウエイトバック後の数値である。なお、ウエイトバック後の調査数と、各カテゴリーの回答数の合計とは、小数点以下の四捨五入の関係で一致しない場合がある。